

# 資料寄贈のお願い

しょうけい館では、戦中・戦後の戦傷病者及びそのご家族の労苦を伝える資料の収集・保存・展示を行っています。

これまでも、全国の方々から、多くの実物資料や図書をご寄贈いただきましたが、現在も資料収集を行っています。

これらの実物資料や図書を所蔵されている方がおられましたら、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。(収集資料の一例は裏面参照)

ご協力をいただける方は、まずは、しょうけい館までその旨ご一報下さい。

ご寄贈資料は資料の登録整理等の手続きが済み次第、館内情報検索コーナーのパソコンにてご紹介しています。

多くの方からの情報をお待ち申し上げます。

## <資料の受付にあたって>

- 実物資料の場合には名称や点数や大きさ、使用年代などの状況を確認させていただいたうえで、受入方法など詳細については担当から連絡させていただきます。
- 資料が大型あるいは大量にある場合には、別途ご相談させていただきます。
- なお、収集済みの資料や、また当館の趣旨にそぐわないものについては、ご意向に沿いかねる場合がございます。
- また、ご寄贈されました資料が展示される時期などは当館にお任せ願います。

## 「戦傷病者の記録」の作成と公開についてのお願い

当館では、戦傷病者の方々の労苦を後世に伝えるため、戦傷病に関する情報を収集し、「戦傷病者の記録」を館内で公開しています。ご協力頂ける方は別紙の記録票にご記入いただき当館までお送りくださるか、ご協力の旨を当館までご一報ください。

戦傷病者やそのご家族からのご寄贈資料の場合、ご寄贈者の「戦傷病者の記録」とあわせてご紹介しています。多くの方からの情報をお待ち申し上げます。



〒102-0074

東京都千代田区九段南1-5-13

ツカキスクエア 九段下

(FAX) 03-3234-7826

**(電話:学芸課) 03-3234-7821**

## ★このような資料を探しています。(一例)

### 戦中の労苦を伝える資料

#### 1, 戦傷病者の受傷病の様子を伝える資料

- ①負傷当時身につけていた物品（被弾痕や血痕のある衣類、軍装品、摘出弾 など）
- ②戦中の受傷病の様子を伝える当時の記録資料（受傷や罹病の証明書類、従軍メモ など）

#### 2, 戦傷病者の治療・療養の様子を伝える資料

- ①戦争中の軍の医療器具（治療器具、薬品類 など）
- ②戦傷病者に戦争中に支給された物品（義肢・義眼・補装具、杖、優待券、慰問品 など）
- ③治療・療養の様子を伝える記録資料（診断書、病床日誌、療養記録 など）
- ④職業訓練・社会復帰の様子を伝える資料（リハビリ用器具、訓練日誌、表彰状 など）

### 戦後の労苦を伝える資料

#### 3, 治療・療養の様子を伝える資料

義肢・義眼・補装具類、断端袋、靴、杖その他日常生活で活動しやすいように工夫して作った器具や衣料、症状経過書、患部の写真、療養記録・写真・日誌 など

#### 4. 社会的・経済的な苦労を伝える資料

職業訓練や就労に関する記録や写真 など

#### 5. 精神的な苦労を伝える資料

手記・日記、短歌や俳句、戦傷病者相談員の相談記録など

●以下の記録資料は、上記の内容を伝えるものであれば、とりわけ広く収集しています。  
例えば、写真、絵画・書画、スケッチ、日記・手記・メモ、手紙・葉書、体験記（自分史）、短歌や俳句などの作品 など

\* ご寄贈いただける資料がございましたら、以下をご記入の上、当館までご一報ください。

お名前	様	電話番号	
ご住所			

お持ちの資料の概要（名称・種類・数量・使用年代・使用状況・保存状態 など）